



2019年10月26日(土) チーム神於山活動報告

2019.10.30
シャープ社友会
チーム神於山
真砂 記

■活動日：2019年10月26日(土) 10:00~15:00

■参加者：チーム神於山 7名

■活動内容

- ・今回は、
 - ① ミカンの木の施肥と、一部根元付近をイノシシに掘り返されていた苗木の土寄せ。
 - ② 昨年架けた三つのフクロウの巣箱と、取り付けていたUSBカメラの回収。
 - ③ 前回刈り残した暗渠回りの草刈りと、多目的広場と林道間の斜面の笹刈り。に取り組み、林道直下の暗渠回りの急斜面の草を除き、予定通り終了しました。
- ・活動頂いた7名の皆さん、お疲れ様でした。
- ・回収したUSBカメラ6台は、岡森さんが自宅に持ち帰り点検した結果、汚れているものの機能することを確認出来ました。ホッと一息です。

■次回以降

- ・11月からはいよいよ2020年のフクロウの棲む森づくりが始動しますが、特に11月は、巣箱の補修と架設、フクロウの狩場になる上部植栽地の笹の刈り込みなど、人手の必要な作業が続きます。
- ・別途ご案内しますので、奮ってご参加ください。

■ミカンの木の施肥と土寄せ

ミカンは、記念樹ゾーンも暗渠回りも順調に育っています。



- ・(写真左) 施肥・土寄せ中の原さん(左)と小林さん。お疲れ様でした。
- ・(写真上) ミカンの枝についているカマキリの卵。正確には卵鞘(らんしょう)と言うそうで、この中に200~300個の卵が入っています。来春、カマキリがウジャウジャ?

■フクロウの巣箱の回収

USBカメラは無事でした。



- 巣箱回収に向かう金井さんと孝橋さんの勇姿！？。
- 梯子・滑車付きロープ・安全ロープは必須です。

- 上の写真は、午前中ミカンの手入れと、巣箱を降ろした後の一枚。岡森さんは所用で中座中の為、6名です。
- 写真中央の巣箱が2014年から営巣実績がある木に架けた巣箱で、今年も営巣し、2羽巣立ちました。
- 左の巣箱は、中央の巣箱から20mほどしか離れていない木に架けた巣箱で、2016年に設置し、17~18の2年連続営巣しましたが、今年は営巣しませんでした。
- 写真右の巣箱は上穴式の巣箱で、竹林側の木に架けましたが、営巣しませんでした。
- 来年はどうなるか、興味津々ですね。

■多目的広場と林道間の斜面の笹刈り 及び 暗渠回りの草刈り

暗渠回りの一部を除き終了です。

●多目的広場と林道間の斜面の笹刈り

原さんの頑張りで、きれいに刈りこまれました。



●暗渠回りの草刈り

手刈りと刈払機のコラボでかなりスッキリしました。残りは林道沿いの急斜面です。



■午後の作業が終わり、手入れしたミカンの木を前に一枚。



午前中参加の金井さんと岡森さんが入れ替わり、午後も6名です。



- 上の写真はヤマザクラに植菌したナメコの楢木です。
- 穴を掘り、並べて寝かせていましたが、掘り出して井桁に組んで寒冷紗で覆いました。
- シイタケより湿度が必要なキノコですから、この伏せ方で良いかどうか判りません。
- どうなるか楽しみに観察したいと思います。

■頑張ったこと / びっくりしたこと。



- 担当エリア外ですが、林道から国見台に上がる尾根道も笹が茂って通れなくなっていましたから、小林さんに頑張ってもらい、入り口近くから階段辺りまで刈り込みました。
- 左の竹囲いから左に竹林に入る作業道がありますが、これも笹が茂って通れなくなっています。
- 倒木もあり、危険ですから次回処理したいと思います。



- 暗渠回りで除伐した桐の木の幹に、全長 12cmほどもある巨大な幼虫が居ました。
- きしわだ自然資料館の平田さんに同定して頂いた結果、スズメガ科のクロメンガタスズメの幼虫と判りました。
- 南方系とされており、以前はめずらしかったようですが、2000年ごろから近畿地方でもよく見かけるようになったとのこと。
- 近畿地方の温暖化は、少なくとも20年前から進んでいたことになりました。
- 虫たちの環境順応力は凄いですね。人間も頑張らなければ・・・

以上